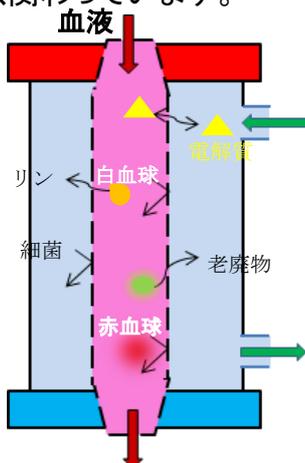


「血液透析」の仕組みについてのお話

臨床工学技士 小館 憲和

病院で働いているスタッフには「臨床工学技士」という職業の人がいます。臨床工学技士は「ME」または「CE」と呼ばれています。病院で使用する様々な医療機器の点検や管理をし、操作する職種です。透析治療にも深く関わっています。



「血液透析」で出来る事

1. 老廃物を取り除く。
 2. 電解質を正常に保つ。
 3. 余分な水分を取り除く。
 4. 血液のpHを一定に保つ。
- 以上の事を透析の要であるダイアライザを使用して行っています。

ダイアライザの中身は、ストロー状の筒を束ねてありこのストローの中を血液が、外を透析液が流れます。このストローには小さな無数の穴が有りこの穴を通して水や老廃物が取り除かれ電解質が正常に保たれます。穴があると聞くと血液が漏れそうですが、この穴は血液の成分より小さいので漏れる事はありません。

血液透析を行うには透析液が必要です。透析液は1人当たり1分間に500ml使用します。血液透析の時間が4時間だと $500\text{ml} \times 60\text{分} \times 4\text{時間} = 120\text{L}$ 使用し20人治療するのに2.4tもの水を使用します。

血液透析だけでは腎臓の機能を完全に補うことは出来ません。医師の指示により服薬をきちんとし、食事や運動など日常生活の過ごし方にも注意が必要です。

臨床工学技士は透析業務として透析装置が正常に動作するよう点検・修理をし、透析液を作成し濃度や有害物質の混入が無いかチェックをしたり、スタッフの一員となり準備・穿刺・回収・片付けを行っています。

アムッコに健康を願ひ ~院内にてあめの配布を行いました~



アムッコ市は秋田県大館市において1588年から行われている小正月行事。アムッコ市のあめを食べると風邪をひかないという言い伝えがあり、あめは縁起物として親しまれています。

当院はアムッコ市にちなみ、2月7日(金)に入院患者の皆様にあめを配布するイベントを催しました。